

議会だより

住みやすい町づくりを目指して <https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>

満開のそば畑

— 琴南地区島ヶ峰 —



Contents

令和3年度決算を認定

9月定例会	2
委員会報告	8
9人が町の考えを問う 一般質問	11
議会からこんにちは スポーツ少年団の紹介	16



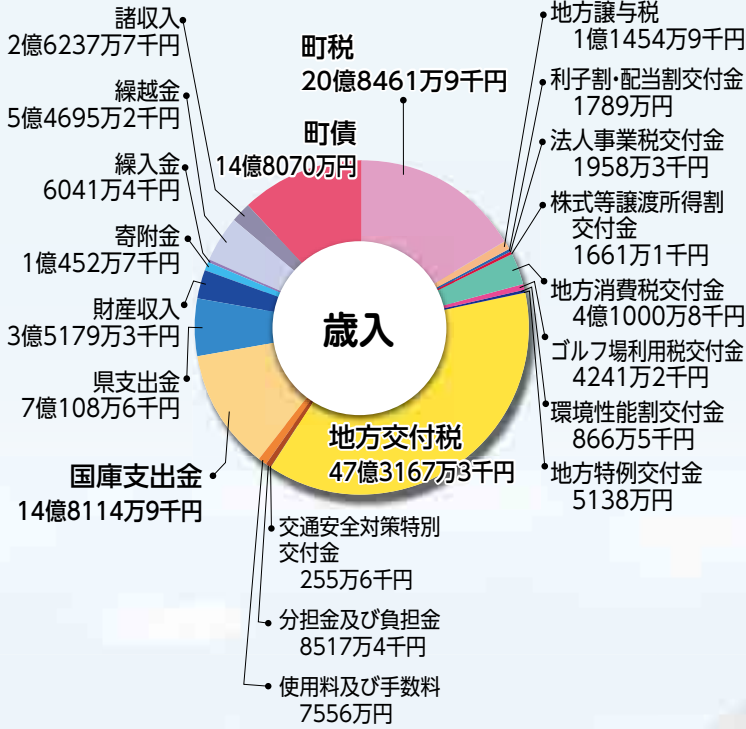
令和4年9月定例会

開催期間 9月5日～9月22日（18日間）

令和3年度一般会計歳入歳出決算

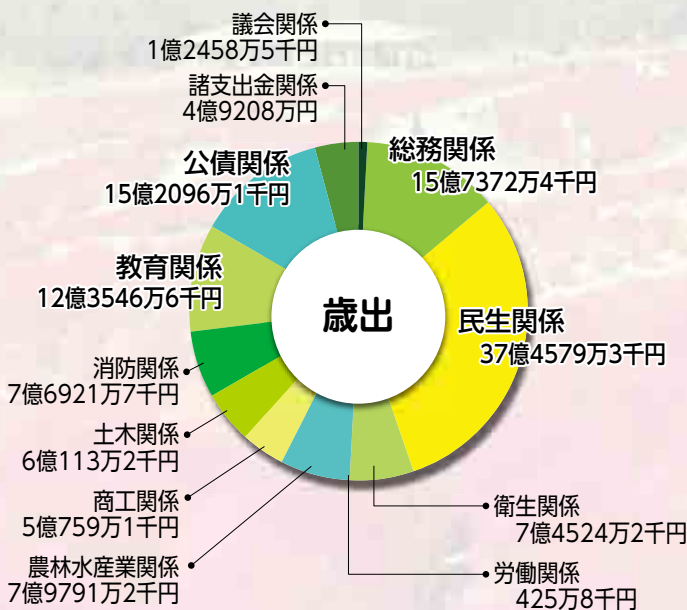
歳入総額 **126億4968万円**

まんのう町に入ったお金



歳出総額 **121億1796万円**

まんのう町が支払ったお金



令和4年度一般会計補正予算(案)(第2号)、町職員の育児休業等に関する条例の一部改正、町官民連携事業に関する個別外部監査契約の締結など5議案の審査を行い原案通り可決した。
また、令和3年度一般会計及び6つの特別会計の歳入歳出決算の審議を行い認定した。
人権擁護委員の推薦に同意した。

令和4年

9月定例会

【即決案件】

【議案第3号】

町官民連携事業に関する個別外部監査契約に基づく監査

満濃中学校複合施設について、図書館、体育館運営業務等が適正に行われているかどうかの監査を個別外部監査として実施することとした。

【議案第4号】

町官民連携事業に関する個別外部監査契約の締結

〈契約金額〉 金110万円
 〈契約の相手方〉 高松市 三和会計事務所

税理士 米田 守宏 氏
よねだ もりひろ

自 令和4年9月5日
 至 令和5年3月31日



【諮問】

【諮問第1号】

人権擁護委員候補者の推薦

- 東高篠 久留嶋 一之氏 (再)
くるしま かずゆき
- 吉野 有信 隆雄 氏 (再)
ありのぶ たかお
- 後山 末久 和幸 氏 (新)
すえひさ なすゆき

【報告】

【報告第1号】

専決処分の報告(給食費滞納等の請求事件)

給食費の滞納者に対し、督促等再三の納付指導を行うも履行がないため、令和4年6月24日に支払督促の申し立てを裁判所に行ったとの報告を受けた。



【報告第2号】

令和3年度まんのう町健全化判断比率及び資金不足比率

資料の提出と説明を受けた。

1. 健全化判断比率		(単位：%)		
区分	令和3年度	早期健全化基準	財政再生基準	
実質赤字比率	実質赤字額はない	13.93	20.00	
連結実質赤字比率	連結実質赤字額はない	18.93	30.00	
実質公債費比率	7.9	25.0	35.0	
将来負担比率	将来負担額はない	350.0		

2. 資金不足比率			(単位：%)	
公営企業会計の名称	令和3年度	経営健全化基準		
下水道特別会計	資金不足額はない	20.0		
農業集落排水特別会計	資金不足額はない	20.0		
浄化槽整備推進事業特別会計	資金不足額はない	20.0		

【付託案件】

各常任委員会で所管する案件について執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

教育民生常任委員会

【認定第2号】

町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

事業勘定について保険給付費、国民健康保険事業納付金、保険事業費、基金積立金等の状況、被保険者状況等について、直営診療施設勘定、内科・歯科診療所の運営状況、施設管理費、医業費、基金積立金、診療報酬、受診者の推移等について説明を受けた。

●主な質疑と答弁

【委員】国保税の減少・一般財源の増加

徴収した国保税が減少し一般財源が増加しているが要因は何か。
 【執行部】収入のある国民健康保険の被保険者が後期高齢者保険に移動することにより国保税が減少し一般財源投入が増加している。

【委員】特定健診

本町は県内トップレベルにある受診率だが未受診者にどう受診して貰うのか。

【執行部】未受診者への受診を勧める通知等は町から委託した業者で行っている。保健師等と連携しきめ細かく行っていく。

【委員】高額療養費

高額療養費支出増加の要因は。

【執行部】令和2年度のコロナ禍における受診控えの反動と思われる。令和4年度は平年並みに戻っている。



【認定第3号】

町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

後期高齢者医療広域連合納付金、諸支払金、保険給付費、被保険者数状況等について説明を受けた。

●主な質疑と答弁

【委員】状況分析と今後の課題

本町の今後の取り組み具体策は何か。

【執行部】認知症予防と骨折予防を中心に、みらくる運動教室やオーラルフレイル出前出張講座等の活動展開を保健師と連携して進めている。本町の取り組み状況は各指標において県下1位項目が多いが、県全体で取り組まないと財政面の効果は出ないので県内全体での取り組みを求めていく。



【認定第4号】

町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

介護認定審査会費、介護サービス諸費、支援サービス等諸費、地域支援事業費、介護予防・生活支援サービス諸費、基金積立金、要介護認定者数、介護保険サービス利用者数等について説明を受けた。

●主な質疑と答弁

【委員】財源内訳

一般財源投入額が減っているが、減少要因は何か。

【執行部】主には制度変更の効果と思う。現在は85歳以上の対象人口は減少しているが、10年後の増加を見据えて第9期介護計画の策定を考えなければならぬ。



【委員】給食サービス

給食サービス委託料は1食あたりでみると711円になるが利用者の感想の把握は。

【執行部】宅配委託業者等には見守り活動を兼ねて動いて貰っており、連絡により救済に繋がったケースもある。特に給食に関する感想には接していない。



【認定第7号】

町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定

総務管理費、施設費、維持管理基数、保守点検等について説明を受けた。



建設経済常任委員会

【認定第5号】

町下水道特別会計歳入歳出決算認定

決算額は、歳入歳出総額2億49万7千円、前年度対比マイナス3.1%となった。



【認定第6号】

町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定

決算額は、歳入歳出総額3210万4千円、前年度対比ほぼ同額となった。



総務常任委員会

【認定第1号】

令和3年度一般会計歳入歳出決算認定

事前に、建設経済常任委員会、教育民生常任委員会において、それぞれの所管部分の審査、質疑を行い了解した旨の報告があった。

●主な質疑と答弁

《建設経済委員会関係》

【委員】農業委員

農業委員、農地利用最適化推進委員の報酬が少ないのでは。

【執行部】基本報酬と活動実績による報酬を上乗せしている。今後、他自治体を参考に検討する。

【委員】ため池改修

防災重点ため池の改修工事は、国が行うべきで、地元負担は取るべきでない。

【執行部】今後、防災の観点から見て、国、県に要望したい。



看板からハザードマップも確認

《教育民生委員会関係》

【委員】高齢者慰問

金婚式や高齢者慰問で、証書のほかに記念品などの贈呈はあるか。

【執行部】以前は記念品を渡していたが、現在は証書のみである。

【委員】町民文化ホール

利用者一人当たりの単価は。【執行部】空調使用の有無で単価が違うため、算出することは難しい。



吊り天井を撤去工事中（町民文化ホール）

《総務委員会関係》

【委員】軽自動車税納付書

1台毎に郵送されているが、三豊市のように所有者毎にまとめた納付書を郵送して経費の削減を図ってはどうか。

【執行部】中讃広域で共同処理しており、2市3町は同じ通知方法になる。今後、集約して発行できないか提案する。

【委員】職員配置

町職員は、合併後46人減である。各課の業務量により職員数を判断して、適正な職員配置を考慮してほしい。

【執行部】各課の業務量などを再確認し、適正な職員配置を検討する。



職員削減が進む町役場

【委員】町長交際費

旅費、交際費の増加は、トップセールスが増えていると評価する。町長交際費を他市町のように公開すべき。

【執行部】現在は公開していないが、他市町を参考に検討する。



【議案第1号】

町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

国家公務員と同様に、職員が育児休業や育児参加のための休暇をより柔軟に取得できるように、また、取得しやすい職場環境の整備を図るために条例改正を行った。

【委員】給与

育児休業中の給与はどのように支払われるのか。

【執行部】 共済組合より育児休業手当金が支給される。



【議案第2号】

町税条例等の一部改正

住宅ローン控除の適用延長、上場株式等の配当所得等にかかる課税方式などについて、地方税法等の改正に基づき条例の改正を行った。

【委員】住宅ローン

控除についてどのような改正があったのか。

【執行部】 令和3年までは控除期間10年、限度額7%であった。令和4年からは期間が13年になったが、限度額が5%になる。



変わる住宅取得控除（イメージ）

【議案第5号】

町一般会計補正予算(案)(第2号)

歳入歳出予算それぞれ2億2760万5千円追加し、総額を13万7千円とした。事前に、建設経済常任委員会、教育民生常任委員会において、それぞれの



所管部分の審査、質疑を行い了解した旨の報告があった。

●主な質疑と答弁

《建設経済委員会関係》

【委員】 仲南振興公社支援

公社の人材育成研修は、2名で2週間か。

【執行部】 川場田園プラザ（群馬県）での研修は、公社の責任者と管理職候補者の2名、2週間で予定している。

【委員】 空き家修繕

補助対象の空き家はどのようなものか。

【執行部】 購入した空き家の修繕に対して補助する。

《教育民生委員会関係》

【委員】 祓川公園トイレ

計画中のバリアフリートイレは、人工肛門の方などに配慮した設備となっているか。

【執行部】 バリアフリートイレの基準として、必要不可欠な設備になるので配慮できていると思う。

※多目的トイレ↓バリアフリートイレに。



児童館を撤去してトイレを整備



JR 善通寺駅のバリアフリートイレ

【委員】 ゴミ袋

計画中の特小のゴミ袋は、燃えるゴミ、燃えないゴミ兼用か。【執行部】 燃えるゴミ用、燃えないゴミ用の2種類を作製予定である。



まんテンちゃん綾子踊バージョン

【委員】ユネスコ登録
綾子踊がユネスコ登録される予定であるが、これに関する予算計上は。

【執行部】当初予算で会場費、出張旅費等を予算計上している。県・綾川町・と協議しイベントを計画中である。町単独での対応も検討していく。



特小サイズのゴミ袋（イメージ）

《総務委員会関係》

【委員】コロナ生活支援
物価高騰対策（非課税世帯5万円支給）は、国の施策と重複するようなので支給範囲、金額など内容を再検討すべき。国と重複する場合、一括支給できれば事務費が節約できる。ただし、スピード感を持った対応を求める。

【執行部】現時点では、町独自策として住民税非課税世帯へ生活支援をしたい。国が同様の支援を検討しているとの情報はありますが、閣議決定されていない。コロナ対策臨時交付金が追加されるとの情報もあるので、国と協議しながら事業者支援策など検討していく。

【委員】路線バス
国・町の補助事業で運行情報や混雑情報が携帯（スマホ）で検索できるようになっても、現在の路線バス運行（利用）状況から利用者増、町民の利便性向上につながると思えない。

【執行部】中学生、高校生が通学



住民の大切な移動手段

や部活動等で、運行状況、待ち時間の確認など利便性向上につながるかと考える。また、町民だけでなく旅行者が観光地への交通手段として利用しやすくなる。

【委員】地域交通計画
来年作成の計画に、路線バスやスクールバスなど現状を十分に調査するとともに今回の補助事業の成果を活用し多角的に検討を行うように。

【執行部】教育委員会など関係部署と協議しながら進める。



令和4年度 議会報告会中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度予定しておりました議会報告会（意見交換会）は中止いたします。

町民の皆様には、日頃より議会活動に対しまして、深いご理解と温かなご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

教育民生常任委員会 報告

太陽光パネル

将来的問題の回避を

【委員】町有地などに業者が設置している太陽光パネルの撤去や処分について、今から対策を考えておく必要があるのではないか。

【住民生活課長】業者者撤退時の諸問題に対応するため、関係部署で調査や研究を進めたい。



満濃南こども園（新築統合施設）

安全対策は万全に

【委員】園には出入り口が5か所あるが、防犯カメラの設置など安全対策はどのようなになっているか。



また、フェンスの低い箇所があったが、子どもが乗り越えるなどの危険はないか。

【学校教育課長】防犯カメラは、出入りが考えられる個所には設置している。門扉も子どもでは開閉できない対策をしている。フェンスの高さについては、5歳児が乗り越えられない基準で設置している。園でもフェンスには登らないように指導する。



安心・安全・笑顔あふれる こども園

不妊治療

保険適用外等に町独自の支援を

【委員】本年4月より不妊治療が保険適用となつていますが、保険が適用されないケースがある。不妊治療に町独自の新たな多角的支援はできないか。

【健康増進課長】担当課としても必要だと考えている。どのような支援が必要か検討している。



コロナワクチン接種

接種率を上げるには

【委員】民生委員や社会福祉協議会と連携して、情報提供や啓発をしてはどうか。

【健康増進課長】これまでも連携して取り組んできたが、引き続き連携して取り組みたい。個別通知などは、ワクチン接種関連のものだと見ただ目で判別しやすいよう工夫している。

18歳までの医療費無料化

全ての18歳までを対象に

【委員】令和5年度から18歳までの高校生を対象とした医療費を無料化とする町独自の支援を考えているとのことだが、就職をしている18歳以下も対象にできないか。

【福祉保健課長】制度を構築する中で、善処できるように作業を進めている。

虐待

判断はどのチームに

【委員】虐待の認定には客観的判断が必要だが、そのための情報収集はどのようにしているのか。また判定はどの機関が行っているのか。

【福祉保健課長】社会福祉士が学校や保護者等から情報収集し、その結果をもって判断している。ケースによっては、児童相談所に連絡し対応を依頼している。学校においては、疑いのあるものも全て児童相談所に報告して、児童相談所が対応することになっている。

建設経済常任委員会 報告

満濃池周遊道

安全な整備

〔委員〕五毛地区で道路整備が必要と思われる箇所があるが、利用者のために整備をしては。また、利用者の要望などはあるのか。

〔地域振興課長〕同地区は他の事業計画もあるが検討したい。また、利用者からは、休める場所が欲しいと声があり、9月末にベンチを1カ所設置予定としている。

森林整備

担い手対策、ナラ枯れ対策

〔委員〕対策協議会の中で、内容はどの様な事が多かったのか。また、ナラ枯れ対策について県はどう判断しているのか。

〔農林課長〕森林環境譲与税の話が多く、費用の一部を新規林業を営む方の育成に充てる内容。ナラ

枯れ対策は、都市部の自治体であっても、環境保全や多面的な森林保持について前向きな話し合いはできている。

50%プレミアム商品券 地域の活性化

〔委員〕50%プレミアム商品券の抽選方法とは、どのようなやり方か。

〔地域振興課長〕1人、3セット申し込んだ方を対象に、パソコンで抽選し、3人に1人の方が1セット外れた事になる。



みんなが喜ぶ商品券



箱罠で捕獲を待つ

有害鳥獣

捕獲器具状況

〔委員〕捕獲頭数が多いが、捕獲に使用する器具の補助申請状況はどうか。

〔農林課長〕電気メッシュ柵は、令和3年度は41件の申請、箱罠は6件、電気刺し止め器は、5件の申請があった。



電気刺し止め器

総務常任委員会 報告

開票所

開票所の変更を

【委員】開票所の照明が暗いので、会場変更しては。
 【総務課長】施設老朽化のため照明が暗く、臨時的に照明を追加しているが会場変更も含めて環境改善を検討する。

選挙

投票率向上の対策を

【委員】投票済者に町指定ゴミ袋を配布したり、移動期日前投票所(車)の取り組みをしては。
 【総務課長】選挙管理委員会に報告し、情報を収集しながら取り組みを検討する。



現在の投票所(満濃農村環境改善センター)

【委員】選挙公報が届くのが遅いのでは。
 【総務課長】今回は日本郵便(株)に委託し規定内の日程で配布したが、少しでも早い配布ができるよう協議する。

【委員】琴南支所に期日前投票所を増設しては。
 【総務課長】選挙人名簿の管理などの問題があるが、協議・検討する。

町出資法人

会計事務所の所見

【委員】会計事務所の所見を踏まえ、今後どう考えていくのか。

【企画政策課長】ことなみ振興公社、仲南振興公社と協議し報告する。

町政懇談会

意見交換の場の今後は

【委員】町政懇談会の在り方や情報発信の手段は。
 【企画政策課長】周知の必要な情報は広報や告知放送でお知らせしているが、コロナ禍が落ち着いた段階で再考する。

仲南福祉バス

利用の促進を

【委員】利用が一部の地域に偏っているが、もっと利用の案内をしては。

【仲南支所長】仲南地区自治会長会で利用実績の報告及び利用の案内をしている。今後も様々な手段で利用を呼び掛ける。

納税

スマートフォン決済の利用状況は

【委員】スマートフォン決済導入後の利用状況は。
 【総務課長】7月末までに約400件の利用があった。



高齢者の足となる福祉バス

議員が町の考えを問う

9月定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報 <https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>）に掲載していますので、ご覧ください。

議員名	質問内容	関連ページ
松下 一美	・防災対策を問う ・コロナ対策を問う ・物価高対策を問う	P11
川西米希子	・飼い主のいない猫（野良猫）対策 地域猫活動の導入 ・手話言語条例・情報コミュニケーション条例の制定	P12
鈴木 崇容	・プレミアム商品券発行事業の費用対効果は ・『GIGAスクール構想』タブレットの利用課題	P12
竹林 昌秀	・合併以来、塩入温泉の改善の手当は、どう講じたのか。公益性の評価はしたことがあるか。永井レポートをどう活用するのか。 ・政府統計の活用を、どう行うのか。 ・「香川県農業・農村基本計画」に新たに策定された「担い手」対策を如何に把握しているのか。本町はこれにどう対応するのか。	P13
京兼 愛子	・町づくりは、少子化対策が要。	P13
石崎 保彦	・災害発生時における地域共助力増強	P14
常包 恵	・男女共同参画社会の推進 ・人口減少対策 ・プロポーザル方式の公正、透明性確保	P14
真鍋泰二郎	・無形文化財・無形民俗文化財の活用 ・事業者目線のプレミアム商品券事業	P15
川原 茂行	・農林業振興	P15



急がれる
物価高騰対策

まつした かすみ
松下 一美 議員が問う

防災対策

防災対策を問う

答 新たな
総合防災センター検討

松下 予測の難しい線状降水帯や台風等などの様に対応されるのか。
町長 毎年度、水防体制や備蓄資機材の確認を行い、非常時に備えている。早めの避難をお願いしている。

松下 現在地下室に設置されている、非常用発電機を安全な場所へ設置してはどうか。
町長 新たな総合防災センターを検討の際、設置場所を検討していく。



地下室にある非常用発電機

新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス対策を問う

答 県平均を上回る接種率堅持

松下 小中学校では、二学期を迎えるがどの様な対策をとるのか。
町長 普段生徒の使用する机、椅子、教材等は教職員が消毒を行なっている。登校時に、チェックを行い必要に応じて医療機関で受診する様呼びかけている。

松下 5才〜11才を対象のワクチン接種にどう取り組むのか。現在、3回、4回接種者は何名程か。
町長 3回目も接種希望者には準備を進めている。3回目、12,484名、76.8%、4回目、5,309名、34.7%と県平均を上回っている。

物価高対策

物価高対策を問う

答 調査検討を行う

松下 農家の肥料や資材費の高騰に対する支援策は。

町長 肥料の高騰に対しては、国より7割が支援される。畜産農家へは香川県より、50万円交付される。

松下 物価高騰による住民への生活支援が必要では。

町長 国や県からの支援は臨時的に行われるが、JAを始め関係機関と調査を進め、町として支援できる項目を検討していく。

飼い主のいない猫(野良猫)対策

かわにし まきこ
川西 米希子 議員が問う

地域猫活動 事業の導入・野良猫への 避妊去勢費用の助成を

答 野良猫の避妊去勢助成は全市町で
取り組めるよう県に要望していきたい

川西 香川県では、市町を窓口として野良猫による迷惑問題と動物の愛護と生命の尊重の両立を目指した「地域猫活動」を行うボランティアに対し経費の一部を助成している。既にこの事業に取り組んでいる市町もある。本町も取り組んでどうか。また、野良猫の避妊や去勢手術に取り組むボランティアに対し経費の一部を助成してはどうか。

町長 「地域猫活動」の導入は現段階では難しい。野良猫の不妊等の助成については町内の野良猫なのかどうかの確認が難しいため、8市9町で取り組めるよう県に要望していきたい。



町長 条例制定の目的を達成するためには、県で広域的に行った方がより高い効果が見込めるものと考え、各町長が集まる町村会で調整し、足並みを揃えて県に条例制定を要望したい。



ボランティア活動への支援を

条例を制定し更に 積極的な取り組みを

答 町村会で調整し各町が足並みを揃えて県に条例制定を要望したい

手話言語条例
情報・コミュニケーション条例

川西 手話の普及や手話が利用しやすい環境整備のため「手話言語条例」の設定を。また、すべての住民に

とつての「情報・コミュニケーション条例」の制定を。「手話言語条例」では①言語の選択権②手話言語の発展を求め、「情報・コミュニケーション条例」の制定では①情報の受け取りと発信の機会の保障②「コミュニケーション」手段の選択権を求める。

プレミアム商品券の費用対効果

すずき たかひろ
鈴木 崇容 議員が問う

町にもたらす 商品券の費用対効果は

答 地域経済の循環、
活性化が図られている

鈴木 昨年度40%商品券、今年度50%商品券発行事業、行政観点から見た費用対効果と、商品券をカードタイプにできないかについてお聞きする。他の自治体では、すでにポイントチャージする方式やアプリを活用しポイントを付与している所もある。

町長 町内で約9億5千6百万円が使用され、地域経済の循環により活性化が図られていて住民と町が一体となり、事業者支援、住民の生活支援においても大きな費用対効果があった。商品券のカードタイプについては、町内は高齢者比率と世帯が多いことから、もう少し時間を要する。しかしながら印刷代の経費削減、換金に関する手間を省力化できるため、電子化に向けた取り組みを検討していく。



商品券事業の成功は地域の活性化

iPad(タブレット)の 更新計画は

答 令和8年度の更新を考えている

鈴木 令和3年3月に国庫補助金、コロナ対策臨時交付金を充当し整備された1267台のiPad(タブレット)、パソコン等は耐用年数が、あり長寿命化計画などが出来ない、次回の更新計画をどうお考えか。また、新規購入なら1億円近く掛かり、補助金、交付金が対象外となった時、財源の確保をどうお考えか。

町長 更新計画については、令和7年度末から令和8年度の早い時期には更新を考えている。児童生徒の授業には必ず必要であるため、更新費用につきましては、県や国に対し、補助等をして頂けるよう、強く要望していく。



便利で簡単タブレット

たけばやし まさひで
竹林 昌秀 議員が問う

本町の独自施策を

答 次世代の営農者の育成

兼業・定年帰農・農外企業・半農半事業主・外国人も

竹林 県計画の担い手対策をどう掌握しているのか。

町長 「一人・農地プラン」から、地域計画を策定する。認定農業者だけでなく、多様な担い手を支援する。

助成要件の弾力化・緩和を

竹林 助成要件の経営規模、対象年齢、栽培品目、経営類型とかの緩和できぬか。

町長 令和7年度末までに、地域農業の10年後の目標地図の作成と併せて、検討する。

品目ごとの生産部会を

竹林 生産者、JA部会、農業改良普及センターや町とで、品目ごとの生産部会を組めぬか。

町長 地域農業再生協議会を母体にして、意欲的なグループ活動に支援する。「耕畜連携」など資源循環型農業を推進して、「飼料米」などの生産部会の立ち上げを行う。

産直市への出荷奨励金の交付を

竹林 流通と販売拡大の体制をどう組み上げるのか。産直市出荷への奨励金を支給して、品揃えを拡充して、売上増加できぬか。

町長 「地産地消、流通コスト削減や情報発信に努める。産直市の課題を聴取して、支援体制を確立する。



産直市は流通のアンテナだ！
品揃えを拡充して、
来訪者の増加策だ!!

きょうかね あいこ
京兼 愛子 議員が問う

婚活・結婚・子育て等の取り組みは

答 少子化に対処するため総合的に推進する

京兼 少子化を見据えた今後の教育方針は。

教育長 遠くはない将来において、さらに児童数の減少が進み、複式学級編制が必要となる場合においては、加配教員を要望したり、町講師の配置により、複式学級の解消を図る。

京兼 結婚・婚活活動等の取り組みは。

町長 まんのう町老人クラブ連合会仲南支部の「出逢いサポートクラブ」また、香川県の「かがわ縁



子どもは地域のたから

結び支援センター」の事業と連携して、そこで誕生したカップルのフォローなどを行い、幸せな結婚に向けた縁結びを支援する。

京兼 今後の子育て支援策は。

町長 「子育て世代包括支援センター」を基盤として、安心して出産を迎えられるよう妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援や不妊治療費助成事業の見直しを進めるため十分に調査研究を続け、本町独自の助成制度を整備する。こども家庭庁の設置を控え、国からも様々な施策が示されていくことが想定される。本町においても関係各課が連携して強化して取り組んでいく。



出産祝い金の増額支援を

いしぎき やすひこ
石崎 保彦 議員が問う

防災・減災

住民と行政による
強い地域防災を

答 各項目について検討し取り組む



共助力・
自助力強化で
命を守る!

- 石崎 町民の皆様は、公助「行政の対応と各消防組織活動」に絶大な信頼を置いているが、これに住民主体の「自助・共助力」を備えた強靱なまんのう町の地域防災を作り上げたい。次の質問にご答弁願いたい。
- ① 災害発生時の共助力強化に防災士との連携を
 - ② 防災介助士資格取得等も資格取得補助事業対象に拡大を
 - ③ 企業等と緊急避難場所協定締結推進を
 - ④ 収容人員の多い施設へAED設置数の増設を

町長 ①町内には防災士67名、町防災士連絡(協)会員25名。発災時に「行政・各消防組織」等との連携活動の策定は無い。平時より自主防災組織や自治会等の地域団体に参画連携し地域防災活動での活躍を期待している。

② 発災時の避難誘導・応急手当・介助・搬送等において、地域住



地域の防災訓練

民救済に大きな力となるので各資格内容等の精査を行い当該補助金の適用拡大を検討する。

③ 現在、(有) 正木鉄工所、(株) 村上重機の2社様と「災害時における一時避難場所に関する協定書」を締結。更に町内に施設を有する企業等との締結を推進してゆく。

④ 現在町内のAED設置数は50施設52台。収容人員の多い施設での発災時における救命遅延を防ぎ、生存の可能性を高める為に増設を検討し、使用訓練を励行する。

つねかね めぐみ
常包 恵 議員が問う

人口減少対策

更なる
子育て支援策が必要

答 子育てに優しい町をPRする



明石市など
成功例を手本に

常包 町の人口は毎年200人から300人減少、特に働き世代の人口減少が著しい。1年間に生まれる子どもは100人を切っている。兵庫県明石市では、子どもを核としたまちづくりを進め、高校生までの医療費・中学校給食費・第2子以降の保育料などの無料化、0歳児へのおむつ配布など子育て支援策充実で、働き世代が転入し9年連続人口増・税収も32億円増えた。町の置かれた状況は違うだろうが、他市町の成功例を真似することから始めたらどうか。

町長 教育環境の充実に加えて、若者住宅取得補助や中学生の海外派遣、インフルエンザ予防接種補助など子育て環境充実で子育てに優しい町をアピールしていきたい。来年度から高校卒業年齢までの医療費無料化を行い、0歳児見守り訪問は子育て応援につながる新たな日用品を検討したい。

男女共同参加

みんなが気持ち良く
働ける職場を

答 極端な男女比率改善を考慮する

常包 男女共同参画を率先して実践すべき町役場で、「窓口職場は女性、現場職場は男性」といった固定概念、誤った社会の常識に基づき男女比率が極端な職場はないか。こども園や消防はどうか。施設面も対応できているか。

町長 一般事務職では建設土地改良課、生涯学習課など4つの課が男性のみである。今後適材適所を軸とし、極端な男女比率の職場環境改善を含めた人事異動を考慮していく。こども園は、女性のみで男性が採用になれば配属を考慮する。南部消防は男性のみであるが、募集の際は女性が活躍できる職場であることを広報している。



守ろう! 活かそう!
地域の宝



無形文化財・無形民俗文化財

まなべ たいじろう
真鍋 泰三郎 議員が問う

文化財保護条例の改正と 保存・活用の独自施策を

答 県の調査報告や方針を聞いた上で対応する

真鍋 条例に登録制度を新設し、無形の文化財（獅子舞・太鼓台など）を保存・活用する独自施策を考えては。

教育長 他部局と連携し文化財を支える地域社会が抱える問題を検討し、登録制度について現状と照らし合わせながら課題を抽出する。



町内の文化財を把握し保存・活用していくことは地域活性化に重要であり、県教育委員会の調査報告・方針を聞いた上で、近隣市町の状況や導入事例を踏まえ適切に対応する。

事業者目線のプレミアム商品券

早急な換金ができる 体制づくりを

答 会計処理のどこを短縮できるかを検討する

真鍋 換金に時間がかかるこの不満の声がある。早急な換金ができる体制づくりを求める。

町長 不満の声があることは聞いている。事業者に換金の締め日と振込日の一覧表を配布しており資金繰りの計画は立てられていると思っているが、不正と換金間違い防止のため商工会と町で二重の確認を行っており、最短で2週間、30万円を超えるものは3週間ほどかかるので、会計処理のどこを短縮できるのかを検討する。



防災は農地と
森林の保全から

町長 廃農地が相当増えてきている。圃場整備の重要さは認識しているが地勢的にパイプ配管が難しい。

川原 町の荒廃農地をいかにしてとセツトしないと農家の負担が増える。

川原 現在、圃場整備をするのに自己負担は少ない。個人所有の農地を公費で改良することができるといことは、何を意味するのか。

町長 国は農地の保全がそれだけ重要だと考えていると思う。自己負担がないから全員が圃場整備をするというものでもない。国県の動向等を見ながら推進していきたい。

かわはら じげゆき
川原 茂行 議員が問う

防災

農地と森林が持つ防災機能を どう活かすのか

答 農地や森林の荒廃は災害の引き金になるため防ぐ必要がある

川原 現在、圃場整備をするのに自己負担は少ない。個人所有の農地を公費で改良することができるといことは、何を意味するのか。

町長 国は農地の保全がそれだけ重要だと考えていると思う。自己負担がないから全員が圃場整備をするというものでもない。国県の動向等を見ながら推進していきたい。

地域もある。

川原 町の将来像を見据え熱意を持って圃場整備をするため、専従職員を置かなければいけない。まず、農業の基盤を作っておく必要がある。

町長 地域間で圃場整備の意向に温度差があり、地元要望があれば実施していきたい。また整備後の農業後継者問題もあり関係者と協議したい。

川原 森林の荒廃は下流域の災害につながる。林業従事者が半減していることから都市部に有利となっている森林環境譲与税の配分方法を見直し、森林を守るための人材育成に充てるべきではないのか。

町長 自然と水の豊かな本町を後世に伝えていくのは私たちの責務である。森林環境譲与税は実際に森林を抱えているところに多く配分されるべきで、町村会を通じて国へ要望しており、現在、見直しの動きがあると聞いている。



町内の
スポーツ少年団を
紹介します



10月1日(土曜日)少し夏の暑さが残る日の取材でした。監督・コーチの丁寧な指導とお母さん達のサポートに包まれ、2年生から6年生まで元気いっぱいの子ども達にお会いして来ました。

クラブ結成から40年に亘り先輩達や指導者・保護

議会からこんにちは No.36

高篠少年野球クラブ

挨拶でつながる 野球が大好きな13名!



目標に向かって大きくはばたけ!



者の皆様が愛情込めて育て守って来た歴史あるチームです。上学年が下学年を大切にするとっても温かく明るいチームワークの良い13名でした。4名の女子が元気いっぱいなのが印象的でした。

「挨拶」「凡事徹底」「礼儀」
これは坂本監督が10年前から取り組んでいることです。野球を通して子ども達に身に着けて欲しい。進学しても社会へ出てもしっかり役に立てる自分であるように「高篠少年野球クラブ」で過ごした時間を誇りに思い、何事にも踏ん張って挑戦できる人間として送り出したい!この思いを三好・吉井両コーチや保護者の皆様と一緒に取り組んでいきます。ちなみにチームの合言葉は「凡事徹底」ですと話してくれました。

クラブの自慢はもちろん「挨拶」!全員一致でそう答えてくれました。さらに到着した我々取材班の姿が見える毎に、気が付いた子から帽子をとって「こんにちは!今日ありがとうございます!」とこちらの背筋が伸びるようなお辞儀で迎えてくれました。

クラブの目標は「県大会優勝」!考える間もなく即答でした。到着後そつと練習風景を見学していたのですが、実践に即したきめ細かな練習でした。一生懸命に監督の目を見て指示を聞き、機敏に動く子ども達をたくましく思いました。夢よ叶え!「県大会優勝」!期待しています。

一緒に野球始めませんか!
女の子も大歓迎ですよ!
普段の練習場所は
旧仲南北小学校です。
(連絡先)渡辺 朝信
(09045048009)

*当たり前のことを徹底的に実践すること

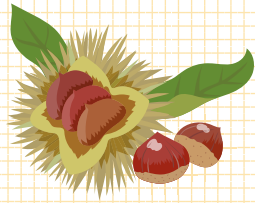
あとがき

編集委員 鈴木 崇容

秋も深まり、めっきり日脚も短くなってまいりました。住民の皆様、いかがお過ごしでしょうか、今年もあと少しとなりました。毎号、「議会だより」を、ご一読して頂き、誠にありがとうございます。私たちが広報委員は、わかりやすく、読みやすく、丁寧に、を心掛け町議会の内容をお届けしております。今後とも、より一層の尽力をいたします。ですので宜しく、お願い致します。向寒のおりから、どうぞご自愛、ご専一に。

議会広報特別委員会

- 〈委員長〉三好 郁雄
- 〈副委員長〉石崎 保彦
- 〈委員〉川西 米希子
- 〈委員〉常包 恵
- 〈委員〉鈴木 崇容
- 〈委員〉真鍋 泰二郎



皆様のご意見をお聞かせください。mail : gikai@town.manno.lg.jp